

過去3回にわたり文献検索のコツをご紹介してまいりました。今回のテーマは文献検索の次のステップ、入手したい文献はどこにあるか（所蔵検索）です。

所蔵検索の出発点は本学図書館です。なければ他の大学図書館、それでも見つからないときは海外の図書館という順に探していきます。本学 OPAC（オンライン蔵書目録）の使い方については以前取り上げましたので、国内外の大学や機関の所蔵を検索する基本ツールをご紹介いたします。

まず、国内の所蔵を確認するなら国立情報学研究所の NACSIS Webcat がおすすめです。全国の大学図書館、高専、研究所等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースで、誰でも学内外から自由に使うことができます。操作は簡単ですが、略誌名でヒットしないときやタイトルが曖昧なときは、末尾に*を付けた検索語(2文字以上)をスペースで区切って複数指定するとよいでしょう。[例1 : hum* mol* genet*] [例2 : 厚生* 神経* リハビリ*] また、「Nature」や「科学」など1語の誌名を探すときはフルタイトルの欄に入力するとうまくいきます。所蔵図書館名の中に「岩医大」または「岩医大分」と表示された場合は本学でも所蔵していることを意味します。ただ、このデータベースに所蔵を登録するか否かの判断は各参加館に委ねられていますので、所蔵資料のすべてを検索できるわけではありません。本学でも研究室所蔵図書や1990年以前受入図書については登録していませんので、本学 OPAC ではヒットしても NACSIS Webcat ではヒットしないことに注意してください。古い資料については、各大学図書館の OPAC や冊子体の総合目録を検索する必要があります。

続いて、国内最大の蔵書量を誇る国立国会図書館の NDL-OPAC は、和洋図書・雑誌、新聞、電子資料、古典籍、博士論文、地図など500万タイトルの検索ができます。検索方法として簡易、一般、拡張の3つが用意されており、書名・著者名がはっきりわかっている和図書を検索するときは簡易が便利ですが、それ以外の場合は一般か拡張をお使いください。一般検索画面では、資料種別にチェックを入れてから検索語を入力し検索を実行します。入力した文字列がデータのどこかと一致すればヒットしますので、洋雑誌は省略形のまま(2文字以上)入力して構いません。また「”」で挟んで「"primary care"」のように入力すると、2語が隣接したデータだけが対象となりますので「primary care in the UK」などはヒットしても「primary health care」はヒットしません。

海外を探すときにも、その国の出版物を網羅的に収集している国立図書館の OPAC を検索するのが有効な手段です。ライフサイエンス分野では米国国立医学図書館の所蔵資料検索システム LocatorPlus が便利です。所蔵調査はもちろん、書誌事項を確認するときや電子ジャーナルの有無を確認するときなどにも役立ちます。Simple Search と Advanced Menu Search の2つ検索方法がありますが、両者とも初期画面のまま複数の単語を入力すると OR 検索の意味となりますので注意が必要です。AND 検索を実行する場合は、Simple なら (Journal) Title Search、や Keyword Combine Search (大文字の AND で挟む) を選択し、Advanced なら論理演算の種類を all of these に変えてください。前述の目録と違う点は、各資料について利用可能か否か、あるいは発注中、整理中、除籍済などの情報まで得られることです。また、的確な MeSH が付与されていますので主題別の雑誌(図書)リストを出すことも可能です。

以上、ご紹介したサイトはすべて、当館 HP のリンク集「所蔵目録」から入ることができますのでどうぞご利用ください。

図書館トリビア

国立国会図書館では「納本制度」により、国内で出版した出版物の完全な最良版を1部納入することを義務付けております。わが国でどのような出版物が発行されているか国内外に知らせ、永く後世に残し伝えることが目的とされています

(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/deposit.html>)。本学では「納本義務」は規則化されておりませんが、本学の研究、活動、業績を広く知らせるために、学内の研究者の出版物を保存、把握することは必要です。ご協力をお願いいたします。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。